

フルーツファーム

VOLUME

22

人からしてほしいと思う通りに、人にもする

AINOMI
S W C あいの実
人からしてほしいと思う通りに、人にもする。

訪問介護新時代。
あいの実
外国人スタッフを
迎える



視線が紡ぐ奇跡 テクノロジーが生む感動
Gaze Art Book 完成

つくる・できる・支える

STRAWBERRY FACTORY

フルーツファーム 22 第22号2025年2月10日発行 ©2017 SWC AINOMI

INFORMATION

公的支援がありません。小さなカフェと、年一回のキャンプの継続に
企業・団体・店舗様、お得意な分野で、お力を貸してください！

医療的ケア児者への支援は、注目度の高い最先端支援分野です。
制度の成熟化が進む一方、ご家族への支援は制度やサービスの対象にならず、課題の社会認知も足りません。

『制度のはざま』で孤立しがちなご家族のための『カフェ』や『キャンプ』事業がスタートしました。
仙台でのモデルケース創りにあいの実と共に取り組んでくださる『パートナー企業』を募集しています！

パートナー企業の意義と役割

- CSR (企業の社会的責任) の一環**
- 地域との交流や地域の活性化**
- ニッチな社会課題や支援の周知活動**
- 社員研修 (人材育成やボランティア) としてのご活用**

パートナー企業様の税制上の優遇措置

社会福祉法人あいの実とは特定公益増進法人です。一般の寄付金とは別枠で損金の額に算入されます。また、パートナー企業としての参加方法によっては広告宣伝費として経費計上することができます。詳しくは貴社税理士にお尋ねください。

- パートナー企業様のご支援方法**
- 協賛金**
医療的ケア児者福祉事業やカフェの運営支援など
- 施設やサービス、技術の提供**
イベント施設の貸出、写真・動画撮影や編集など
- イベントやプロジェクトへの協賛品**
物品・食材・アウトドア用品の供与・貸与など
- ボランティア**
イベントでのお手伝いなど



社会福祉法人あいの実、および『仙台あばいんプロジェクト』のパートナー企業になることでSDGsの二つの分野に共に取り組んでいきます。



重い障がいの子を持つお母さんたちが、
再び社会で輝くためのプロジェクトを
ご支援ください！



- AINOMI・AVAIN LINE 公式アカウント**
ボランティア募集やイベント情報を配信しています。まずはご登録を！
- 個人の方**
500円/月からできる！
お母さんの支援！
- 法人の方**
様々なご支援方法をQRコードから確認できます！

仙台発『誰も取りこぼされない未来を創るあいの実のプロジェクト』に、どうかお手伝いをお願いします。お申込、ご相談、情報提供はこちらまで

✉ avain@ainomi.com

AINOMI
S W C あいの実
人からしてほしいと思う通りに、人にもする。

【編集・発行】
社会福祉法人あいの実
〒981-3217 宮城県仙台市泉区実沢字中山北100-2
Tel : 022-785-9440 Mail : info@ainomi.com

SENDAI
AVAIN
PROJECT...

仙台あばいんプロジェクト

WEBで詳しく見る



訪問介護 あいの実、 外国人スタッフを迎える。 新時代



2025: THE TURNING POINT

介護業界でのターニングポイントと言われる、2025年がスタートしました。厚生労働省は特定技能外国人の介護職員初任者研修の修了を条件に、訪問介護の就業を認める方向で検討中です。

異文化コミュニケーション
がもたらす、**未来志向の人材戦略**。

初任者研修の教本は専門用語が多く、来日まもない外国人には理解しにくい内容です。あいの実では外国人育成のためのプログラムを急ピッチで進めています。

フルーツファーム

VOLUME
20



ごあいさつ
乾 祐子

□ S.W.C.あいの実理事長
□ 一般社団法人全国重症児者サービス・ネットワーク顧問
□ 昭和27年生まれ 仙台市出身
平成17年に主婦数人と共に「NPOあいの実」設立。自身や子供たちも特定難病疾患を経験し、それらの経験を生かした「弱い人を理解できる、頑張っている人を応援する経営」をめざす。

CONTENTS

02 訪問介護新時代

異文化コミュニケーションがもたらす、未来志向の人材戦略。

05 GAZE ART BOOK

視線が紡ぐ軌跡、テクノロジーが生む感動。

09 STRAWBERRY FACTORY

虹色クラフトでつながる支援の場

10 助成・支援のご報告

2024.1月～2024.12月までに
ご支援いただいた方たち

10年目のありがとう

勤続10年を迎えたスタッフを
ご紹介します。

新たな視線と視点

全国各地で例年になく災害級の大雪に見舞われ、皆さまもご心配のことと存じます。一方、仙台では比較的雪の影響が少なく、ひとまず安堵しておりますが、春先の雪にも変わらぬ警戒が必要です。

生み出した作品を、アートダイレクターが丁寧にトリミングし、一目見ただけでその魅力を感じていただけるとの仕上がりとなりました。今後は、学校や図書館などに寄贈し、より多くの皆さまに手にとっていただけるよう努めてまいります。

以前より取り組んでまいりました、重い障がいをもつ子どもたちの視線入力を活用したアートブックが、清水芸術基金のご支援を受け、見事完成いたしました。子どもたちが

介護業界、特に訪問介護の分野では深刻な人材不足が続いています。あいの実も、地域の支援インフラとしての役割を果たすため、危機感を強く感じていました。特定技能外

国人材の活用を進めるべく、今年度は早速4名のネパール人スタッフを採用することとなりました。これからは、日本語や日本の文化、そして訪問介護の知識を学びながら、現場での貴重な戦力となっていただく予定です。あいの実も、もともと国際色豊かな組織ですが、これからも多国籍な視点を取り入れ、時代の先頭を走る存在として地域に貢献していきたいと思えます。皆さまの変わらぬご支援と温かいご協力を、心よりお願い申し上げます。

THE EVOLUTION OF TOMORROW

これからの時代に向けて進化するために

『2025年問題』の筆頭に上るのが深刻な介護人材不足です。人口の4分の1が後期高齢者となり、介護サービスのニーズはこれまでになく迫っています。厚生労働省では介護人材の確保や外国人の就労環境の整備を目的とした検討会が行われ、議題には外国人スタッフの訪問介護従事に関する改正案も含まれています。

訪問介護は利用者に対し、一対一でサービスを提供することから、適切な指導体制の確保や、労務管理、人権保護が難しいとされ、外国人の就業は一定の介護技術と語学力を保持している介護福

祉士以外は認められてきませんでした。緩和策の施行により、特定技能外国人訪問介護職員の就業が通所施設のみならず、訪問介護に拡大する見込みです。

とは言え、門戸は開かれても多くの懸念材料や体制の不備により、外国人雇用に二の足を踏む事業所も多いことが予想されています。介護現場のターニングポイントを目前に、あいの実はいち早く外国人訪問介護スタッフの採用を検討しました。2025年2月より、あいの実には4人のネパール人介護人材を受け入れました。来日したて



今回、あいの実がお迎えしたネパールのみなさん

の外国人スタッフを、迅速に訪問介護に送り出すためのスケジュールが生まれ、研修教本の教材作りや、外国人人材育成のためのプログラム、指導・相談体制などが、急ピッチで進められています。特に初心者研修の教本は専門用語が多く、日本語レベルの高くない外国人には理解しにくい内容です。母語への翻訳と、簡単な日本語の解説付きの教材を制作中です。

介護人材育成と同時に欠かせないのが、外国人スタッフとの温かなコミュニケーションや、異文化の相互理解、孤立やストレスを防ぐメンタルケアなどです。

アジア圏で未だ一般的な『家族による介護』から日本の『制度による介護』への意識の切り替え。文化や価値観の相違と尊重。日本人の介護利用者への配慮。外国人・日本人を問わず、あいの実スタッフ

は多くの変化を経験することになります。

言語や文化の違いには多くの懸念事項がある一方、多くのメリットもあります。日本人スタッフは改めて介護の本質に向き合う機会になり、利用者さんにとっても外国人スタッフとの交流が新鮮な体験となるはずですよ。

期待と緊張の中、社会福祉法人あいの実も訪問介護新時代の幕開けを迎えようとしています。



あいの実のオレンジアカデミー



特定技能外国人向け
初心者研修については
こちらから。



あいの実訪問介護スタッフ
介護福祉士
佐藤聖悟さん

これから外国人スタッフと一緒に働く日が楽しみです。文化や言葉の違いに戸惑う場面もあるかもしれませんが、それ以上に、新しい視点や価値観を学べる機会になると感じています。あいの実の現場では利用者一人ひとりに寄り添った細やかなケアが求められます。利用者様はとても良い方達ばかりです。

「人からしてほしいと思うことを、人にする」

あいの実の理念を分かちあい、丁寧にサポートしながら一緒に成長していきたいです。また、私たちも彼らから学び、介護現場全体がより活気づく未来を目指したいと思います。



あいの実訪問介護 ご利用者
高橋邦子さん

ネパールってどこ?!

自宅と学校施設病院と近所のスーパーという狭い世界で生活してきた私が最初に思ったことです。

ニュースで外国人スタッフの受け入れが増えていることは知っていましたが、あいの実で!?しかも訪問で!?と驚きました。私たちはヘルパーさんのサービスそのものだけではなく、楽しかった事大変だった事、たくさん話を聞いてもらい心も助けられています。

そして外の世界を動き回っているヘルパーさんの旬な情報やお話を聞くのもとても楽しみです。ネパールの文化食べ物生活など知りたくなりました。新しい出会いにワクワクしています。

The

Gaze

Art

まなざしがアートを紡ぐ
—アートへのまなざし—

『The Gaze Art』 重症心身障がい児・者が描き出す視線入力アート

THE
ART
OF
GAZE
CONVERSE
THE
GAZE
TOWARDS
ART

Gaze Art Book

視線が紡ぐ軌跡、
テクノロジーが生む感動。

2024年12月、『GAZE ART BOOK』が完成しました。

グラフィックデザイナー兼アートディレクターのアベモリタケ氏(bambigraphics)監修の元、視線入力で表現された作品のアート性や魅力が存分に引き出されています。

『GAZE ART BOOK』の制作は、2023年度清水基金・文化芸術活動特別助成事業への申請「テクノロジーと制作化により、障がい児アートを社会に発信する事業」の採択を機に施行されました。視線入力でのテクノロジーを活用した作品を、クオリティを重視したアートブックに昇華するプロジェクトであり、療育レベルの向上、視線入力への素地づくり、療育的ケア児者のポテンシャルの分析とエンパワーメントに取り組みました。清水基金様を始め、障がいを持つアーティストたち、療育と制作に携わった方たち、ご支援者から感謝いたします。『GAZE ART BOOK』は、あいの実関係者やご支援者、医療・福祉施設や図書館に寄贈する予定です。

社会福祉法人あいの実では、アートブック制作の経験を、療育的ケア児者の自立的収入源と分配を意識したプロジェクトに生かしていきたいと考えています。

楽しく視線入力中！





体が様々な制約によって自由に動かせない中、スタッフがデバイスとの位置関係を探りながらセッティングし、より快適な状態で視線入力ができるよう工夫しています。

‘The Art of Gaze Conversely The Gaze Towards Art’

視線のアート、これは 翻ってアートへの眼差しとなる——

このメッセージは、視線のアートを通じてアートに対する見方や考え方が変わるロジックを指しています。『GAZE ART BOOK』がもたらす新たな視点や視覚的な体験により、アートに対する理解や評価の変化を体感できます。

『GAZE ART BOOK』は、テクノロジーが切り拓く新たな表現の世界を映し出しています。視線入力装置を用いて、重症心身障がいを持つ人々の内なる世界が形になりました。彼らの作品は、単なるアートではありません。意識とテクノロジーが融合し、他者の力を借りながらも生まれた新たな表現形態です。この新しい形態を、言葉にも指にもよらない感性の抽出にちなみ、『Draw out Neuro Art (DoNA)※』と名づけました。

関わるクリエイター・デザイナーたちが彼らの視線の軌跡をデザインとして昇華させることで、作品はより深い意味と価値を持つものとなります。将来的には脳波などの入力方法も取り入れ、表現の可能性はさらに広がっていくことでしょう。DoNAは彼らの存在と可能性を社会に発信します。作品をご覧になる皆さまに『GAZE ART BOOK』に纏わる背景を知っていただき、自らがアートの意味を見出されることが、DoNAの核心と言えます。

彼らが生まれてきたことの価値を示す『軌跡』であり、『奇跡』、そして『貴跡』。かつて無名の作り手の作品が民藝として認められたように、この新しいアートもいずれ新しいカテゴリーとして認識されるようになるでしょう。

彼らの表現を無視するのではなく価値を見出し、社会において対等な存在として引き上げる——それがこのプロジェクトの目的であり、未来への展望です。

※ Draw out Neuro Art (DoNA)とは？

⇒ Draw out = 引き出す・汲み取る ⇒ Neuro = 神経・神経回路

重症心身障がい児者の描く内なる世界を、脳や神経回路の領域に留め置かず、テクノロジーにより引き出し、可視化するアート。将来的には脳波インターフェイス入力により、感性の抽出がさらに精緻でダイレクトになると見込まれる。

● Gaze Art Book まえがき

Sendai, 10 de Junio de 2024

Estoy muy contento de haber venido a conocer y exponer a Sendai, y de haber venido para ayudar a la organización AINOMI. Ha sido una gran experiencia colaborar con estos niños y sus padres y hermanos.

AINOMI hace un gran trabajo para ayudar a expresar sus sentimientos con lo único que pueden utilizar para expresarse: sus ojos. Ellos hacen verdaderos obras de arte y animo a que hagan este proyecto del libro para ellos, que son grandes artistas.

Siempre los llavare en mi corazón.

Gracias AINOMI

June 2024

Torrent a casa. Alcever
Coming home. Alcever

仙台にて 2024年6月10日
仙台絵画展であいの実のみなさんに協力することができてとてもうれしいです。子供たちと子供たちの両親、兄弟たちといっしょに活動できたことは私にとって大きな経験でした。
あいの実は、“眼”だけで感情を表現することを支援するための素晴らしい作業をしています。偉大な芸術家たちのために本を制作するプロジェクト“真の芸術作品”がうまくいきますように支援します。
いつでもみなさんの心の中に ありがとう あいの実 ジョルディ・イセアン



2024年5月、あいの実主催のチャリティイベントのためスペインからジョルディ・イセアン画伯が来日。アートブック制作プロジェクトと医療的ケア児者を励ます、温かなメッセージを頂きました。

GAZE ART BOOK
視線入力アートブックについて詳しくは
こちらから

●EyoMoT (アイモット) 重度障害児支援システム / 開発者
島根大学総合理工学研究所機械・電気電子工学領域 助教
伊藤 史人 (いとう ふみひと) <https://www.poran.net/ito/>

助成 ● 一般財団法人善い心を未来につなぐ財団 ● 社会福祉法人清水基金

● 特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台	● 株式会社 EPEIOSJAPAN	● 根本 千佐子	● 津田 大輔
● 仙台トヨペット長命ヶ丘店	● みやぎのあられ株式会社	● 坂上 真大	● 登坂 理恵
● 社会福祉法人あいの樹	● 株式会社宮城土地建物	● 笹浪 麻衣	● 藤本 りさ
● 結・サポート株式会社	● プフリクリスティ	● 山口 尚治	● 平田 政嗣
● 株式会社市村工務店	● SASAKI ベスト	● 須藤 睦子	● 保科 千里
● 株式会社わたなべ	● 伊藤 清子	● 須藤 麻紗子	● 保科 満
● 有限会社肴町	● 伊藤 多恵子	● 菅原 明奈	● 北尾 朋広
● 明治安田生命保険相互会社	● 一迫 慎也	● 西岡 恵子	● 野島 比呂司
● 都市建築設計集団/UAPP	● 加藤 哲也	● 川地 桃子	● 鈴木 敬一
● 株式会社 T-plan	● 河野 美佳	● 大島 恵理子	● 鈴木 慎二
● 株式会社セーテン	● 近藤 大介	● 大野 珠央	● 吉岡 由希絵
● 株式会社 GEAR	● 御代田 浩伸	● 中嶋 牧子	● 八木 孝夫
● 株式会社バードシード	● 今田 愛子	● 猪熊 恵美	● 平田 さゆみ

他大勢の匿名希望の方よりご支援いただきました。心より感謝申し上げます。



ありがとう！ 勤続10年スタッフ

あいの実に10年以上在籍しているスタッフは合計28名になりました！

2024/12/31現在



岩村 裕さん

ヘルパーステーション・介護職員

スタッフ登録2014年6月24日

早いもので10年が経過しました。先輩ヘルパーの皆さんからのご指導を受けながら10年間勤めることができました。今後も健康に注意しながら勤務してまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



岩元 優子さん

通所・マネージャー

スタッフ登録2014年10月26日

あいの実に入職して早いもので10年が経ちます。たくさんの方々にご助けをいただきました。役職を意識せず、肩の力をぬいて仕事に向き合っていきたいと思っております。



千脇 春美さん

通所・看護師/計画相談支援・相談支援員

スタッフ登録2014年8月18日

あっという間に気がつけば10年…何も知らずに飛び込んだ世界ですが、スタッフの皆さんに支えられここまで来ることができました。通所オープン前に、いろいろ準備した事を懐かしく思い出します。これからも楽しく仕事に向き合っていきたいと思っております。



三浦 薫さん

通所・児童指導員・生活支援員

スタッフ登録2014年8月18日

放課後デイサービスを開設してから10年過ぎました。その間に、ラズベリー、クランベリー、ブルーベリー、ストロベリーとベリーが増え拡大する中で子供達の成長を見守りながら仕事できました。大きな喜びでした。微力ながら笑顔で寄り添えるよう努めてまいりますので宜しくお願いします。

長年に渡ってあいの実を支えてくださっている大切なメンバーです。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

あいの実では、勤続10年・15年を経過した方に記念の盾と記念品を贈呈しています。



つくる・できる・支える



虹色クラフトでつながる支援の場

医療型ショートステイ「あいの実ストロベリー」は、重症心身障がい児者とその家族を支える複合施設 COCON 西田中 EAST の一部として、多様なニーズに応える場を提供しています。施設では、デイサービスのご利用者やそのご家族だけでなく、カフェやクリニックを訪れる方々が自然と集い、賑わいのあるコミュニティを形成しています。

「あいの実ストロベリー」は、事前の登録と予約により、柔軟にご利用いただけるサービスを展開しています。長時間の預かりや入浴サービスに加え、現在力を入れているのが「ものづくり」を通じて療育プログラムです。利用者やスタッフの協力が協し、スイッチ操作で靴下染めに挑戦したり、視線入力で制作したデザインを布や革にプリントしてバッグやペンホルダーを作ったりと、多彩な活動が展開されています。

2024、2025年には、NPO 法人「エイブルアート」や公益財団法人「善い心を未来へつなぐ財団」の協力を得て、デザイナーの大江

STRAWBERRY FACTORY

ストロベリー」は、未来に向けて希望を育む場であり、地域と利用者をつなぐ架け橋として成長し続けています。今後も、地域団体の活動やマルシェへの参加が積極的に計画されています。どうぞ引き続き、応援をよろしくお願いいたします。



氏を招いたワークショップが開催されました。プロフェッショナルの視点や技術が加わることで、ご利用者が作る作品の質は飛躍的に向上し、スタッフからは「仕事や自立につながる可能性を感じた」との声が寄せられています。医療型ショートステイ「あいの実

